人類に奉仕するロータリー
RI会長　会長ジョン・ジャーム

Rotary District 2640 Japan
海南東ロータリークラブ
ROTARY CLUB OF KAINAN EAST
2016-2017年
会長　上野山 雅也　　幹事　山畑 弥生　　ＳＡＡ：大江 久夫

第 1890 回例会
平成 28 年 9 月 26 日（月）

12:30～　海南商工会議所４Ｆ

１．開会点鐘
２．ロータリーソング　「それでこそロータリー」
３．ゲスト紹介　堺清陵 RC　中野　一郎　様
（地区国際奉仕委員長）

４．出席報告
会員総数 44 名　　出席者数 27 名
出席義務規定適用免除会員　１名
出席率 62.79%　　前回修正出席率 86.04%

５．会長スピーチ　会長　上野山　雅也　君

皆さん、こんにちは。心配された台風も当地区には、あまり影響なかったようで安堵している今日この頃です。本日は、お客様として堺青陵ロータリークラブの中野一郎様をお迎えしております。中野様は、現在、地区国際奉仕委員長でありまして永年地区活動にご尽力なさっています。特に当クラブの谷脇さんとご厚意と聞いておりまして、地区にて広範囲にご活躍され、非常にロータリーに熱いお方であるとお聞きしております。後程、卓話よろしくお願いいたします。

さて、本日は、9 月の定例理事会の報告をいたしたいと思います。会長挨拶から始まり、前回理事録の承認をいたしました。報告事項といたしましては、先般申し上げました 8 月 19 日の海南 3 クラブ会長・幹事会にて決定した 3 クラブの合同例会を 11 月 17 日（木）に正式決定いたしました。当日は、ボジョレーの解禁日に近いことより、親睦ワイン例会になりそうです。その関係で当クラブの例会 11 月 14 日（月）は、休会といたします。それから、10 月のプログラム協議を承認し、ミンダナオ子供図書館への寄付金の協議にはいり予算ひっ迫のおり従来２万円のところ今回１万円と決定いたしました。

それから、ご案内のとおり 8 月の理事会決定により規定審議会での変更事項に対応すべく当クラブの細則の変更をとり行うことになり、細則第 5 条第 2 節における「例会に関するあらゆる変更または例会の取消はすべてのクラブ会員全部に然るべく通知しなければならない」という規定により先般、会員皆様に書状が届いたことと存じますが、今のところ私のもと執行部・事務局にも異議のご意見はきていないものと認識しておりますが、再度申し上げ決定いたしたいと思います。クラブ細則第 5 条「会合」　における第 2 節において「第 5 月曜日は、休会とする。」を付け加える。もうひとつは、同じく第 6 条「入会金及び会費」第 1 節「入会金は、10 万円として、入会承認に先んじ納入すべきものとする。」を削除いたします。

また、前条の関連で第 12 条第 5 節中の「本細則に定める入会金を収めることにより」と「所定の入会金を収めることにより」の各文書を削除いたします。

ご異議がございませんようでしたら、直ちに施行してまいりたいと存じます。ご異議ないとのことで、有難うございます。会長スピーチ終わります。

６．幹事報告　幹事　山畑 弥生 君

〇例会臨時変更のお知らせ

和歌山西ＲＣ　10 月 5 日（水）→　10 月 5 日（水）
18：00～　「三八波本館」
10 月 26 日（水）→　10 月 27 日（木）
18：00～「や万志多」

那智勝浦ＲＣ　10 月 6 日（木）→　10 月 6 日（木）
メナード青山リゾート
（家族親睦会の為）

和歌山南ＲＣ　10 月 14 日（金）→　10 月 13 日（木）
18：30～　アバローム紀の国
（和歌山城南ＲＣとの合同夜間例会）

和歌山中ＲＣ　10 月 21 日（金）→　10 月 21 日（金）
19：00～　レストラン「シェール」
（ダイワロイネットホテル３Ｆ）
創立記念例会
10 月 28 日（金）→　10 月 26 日（水）
18：30～　ラヴィーナ和歌山
和歌山東南ＲＣとの合同例会

和歌山東南ＲＣ
10 月 26 日（水）→　10 月 26 日（水）
18：30～ラヴィーナ和歌山
和歌山中ＲＣとの合同例会

事務所　〒642-0002
海南市日方 1294（海南商工会議所 4F）
TEL:073-483-0801　FAX:073-483-2266
http://www.kainaneast-rc.jp　E-mail：info@kainaneast-rc.jp

○例会休会のお知らせ
　和歌山西ＲＣ　　10 月 19 日（水）

７．ゲスト卓話　　堺清陵 RC 中野 一郎 様
（地区国際奉仕委員長）

平素は 2640 地区の運営に多大なる支援を賜り、誠に有難うございます。ここ数年続いておりました混乱もようやく落ち着きつつあります。2014～2016 年度とイレギュラーな形で辻秀和ガバナーの下、ガバナー補佐を拝命し同期のガバナー補佐の貴クラブの谷脇様には大変お世話になりました。

クラブ例会と職業奉仕に想うこと

10 年ほど前に当地区の職業奉仕委員長を努めておられた泉南ロータリークラブの角谷 浩二様のお話を少し引用させて頂いて話を進めます。他団体の会員は「ロータリークラブは何故、毎週毎週例会を開くのか？　私たちは1ヶ月に2回例会を開催するだけです。ロータリーは例会で食事をし、話を聞き、寄付をします。ロータリークラブというのは金持ちの暇人の集まりなんですね」とよく言われます。どうなんでしょうか？この言葉に対して我々は強く反論しなければなりません。社会奉仕だけを目的とする団体や単なる寄付団体、慈善団体ならば毎週例会を開催する必要はなく、極端に言えば半年に一回程度総会を開くとか　出席しなくても寄付だけすればいい訳です。しかしロータリーは単なる寄付団体や慈善団体ではありません。奉仕団体と言われることにも少し違和感を感じるのは私だけでしょうか？

ロータリーの例会は食事をするために出席するのではございません。友に会うため、そして友の卓話を聞くために出席し、卓話を聞き職業倫理を学ぶのです。我々は職業人の集まり。例会に出席して職業人同士の体験談、知識、知恵などを耳にし、職業倫理を学びあう訳です。卓話は聞いては忘れ、聞いては忘れの繰り返しですが、しかし何度も聞き　そして忘れていくうちに、次第に自分自身が磨かれロータリーの倫理が身につくように思う訳です。その為にロータリーは毎週例会を開いているのです。クリスチャンが毎週日曜日に教会に行き、祈りをささげ、心を洗うように・・・

最近は職業分類の規定が随分とあいまいになってきておりますがどうなんでしょうか？また 2016 年度規定審議会において「クラブ例会と出席に柔軟性を認める件」（制定案 16-21）が採択され例会そのものが軽視されているように感じます。「人生の道場である」と日本のロータリーの創始者である米山　梅吉氏はロータリーをそしてクラブ例会をこのように表現しております。　最近は奉仕団体と言われるロータリーですが梅吉翁は「奉仕するのは個々のロータリアンでありクラブではありません。クラブは奉仕するロータリアンの心を育てるところです」と説いている。「入りて学び、出でて奉仕せよ」がよく言われている。例会においては仲間と切磋琢磨しそれぞれの社会に戻ってそのエネルギーを社会に、職業に放出する。「心を求めて例会に至り、境地を得て例会を去る」例会は神聖で大切なもの。クラブは「奉仕の心を磨く」ところであると私は考えます。

それがロータリークラブの核たるところではないでしょうか。「例会は自己研鑽の場」自己研鑽とは言い換えると「自分に足らない部分を求める」ことではないか？大勢の友人との出会い、会長のスピーチ、興味ある卓話、雑談の中から得る知識など「例会」はロータリー以外では得られない知識の宝庫と思う訳です。二宮　尊徳氏が「田畑を耕す前に、まず心の田畑を耕せ」と言う言葉を残されておりますが、まさに我々ロータリアンは例会において「心の田畑」を耕して奉仕の心を磨き世のため人の為に尽くしたく思いたいものです。ロータリーは大きく変革しようとしていますがクラブ例会と職業奉仕について私の個人的な考えを述べさせて頂きました。

９．閉会点鐘

次回例会
第 1891 回　　平成 28 年 10 月 26 日（月）
夜間例会　19:00～　「かめや」
お誕生日、結婚記念のお祝い

ニコニコ・BOX

中野 一郎 様 (堺清陵 RC)	よろしくお願いします。
中村 俊之 君	昨日、８マル会、幹事しました。
中西 秀文 君	父の葬儀に際し会葬賜りありがとうございました。
ＩＤＭ１組	残金
山東 剛一 君	先日地区の米山記念奨学会の会議が堺市であり、出席しました。
阪口 洋一 君	中野一郎様、お出で頂きありがとうございます。
寺下　卓　君	８マル会コンペお世話になりました。中野様、本日宜しくお願いします。
谷脇 良樹 君	８マル会、久しぶりに優勝させて頂きました。
宇恵 弘純 君	８マル会無事終了。幹事の中村さん谷脇さん、倉橋さんご苦労様でした。
上野山 雅也 君	中野様ようこそいらっしゃいました。
山畑 弥生 君	〃
大江 久夫 君	〃

9月は 基本的教育と識字率の向上月間、ロータリーの友月間です